

平成29年度全国学力・学習状況調査 北栄町の概要及び傾向と対策について

平成29年9月
北栄町教育委員会

1 実施状況

平成29年4月18日実施

【小学校6年生】

教科等	国語A	国語B	算数A	算数B	質問紙
人数	112	112	112	112	112

【中学校3年生】

教科等	国語A	国語B	数学A	数学B	質問紙
人数	113	113	113	113	113

2 教科の概要

(1) 小学6年生

【国語A】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	112	15	10.9	73
鳥取県(公立)	4,709	15	11.4	76
全国(公立)	999,683	15	11.2	74.8

【国語B】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	112	9	4.8	54
鳥取県(公立)	4,707	9	5.2	57
全国(公立)	999,498	9	5.2	57.5

【算数A】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	112	15	11.7	78
鳥取県(公立)	4,708	15	11.6	77
全国(公立)	999,723	15	11.8	78.6

【算数B】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	112	11	4.5	41
鳥取県(公立)	4,707	11	5.0	46
全国(公立)	999,451	11	5.1	45.9

国語

○国語A (主として知識)・・・15問

- ◆平均正答率・・・北栄町73%、鳥取県76%、全国74.8%
 - ・平均正答率が全国平均以上の問題は 7問
 - ・平均正答率が県平均以上の問題は 5問
 - ・学習指導要領の領域では、「話すこと・聞くこと」の領域で全国平均を上回っている。

- ◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題
 - 「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む(指示)」問題
(北栄 98.2%, 全国比 +3.7)
 - 「古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む」問題
(北栄 75.9%, 全国比 +4.8)

- ◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題
 - 「俳句の情景を捉える」問題 (北栄 41.1%, 全国比 -15.9)
 - 「ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる(三度目の正直)」問題
(北栄 78.6%, 全国比 -11.4)
 - 「目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む」問題
(北栄 65.2%, 全国比 -9.2)

○国語B (主として活用)・・・9問

- ◆平均正答率・・・北栄町54%、鳥取県57%、全国57.5%
 - ・平均正答率が全国平均以上の問題は 3問
 - ・平均正答率が県平均以上の問題は 2問
 - ・学習指導要領の領域では、「書くこと」の領域で全国平均を上回っている。

- ◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題
 - 「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる」問題
(北栄 52.7%, 全国比 +9.7)

- ◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題
 - 「話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える」問題
(北栄 52.7%, 全国比 -16.5)
 - 「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える」問題
(北栄 66.1%, 全国比 -9.8)
 - 「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える」問題
(北栄 16.1%, 全国比 -11.9)

[国語関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」

(北栄町 89.3% 鳥取県 89.2% 全国 87.9%)

「今回の国語の問題について、全ての書く問題を最後まで解答を書こうと努力した」

(北栄町 80.4% 鳥取県 78.9% 全国 77.2%)

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低い主なもの

「国語の勉強は好き」 (北栄町 57.4% 鳥取県 63.5% 全国 60.5%)

「国語の勉強は大切だと思う」 (北栄町 88.4% 鳥取県 91.7% 全国 91.2%)

「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」

(北栄町 54.5% 鳥取県 64.1% 全国 63.4%)

算数

○算数A (主として知識)・・・15問

◆平均正答率・・・北栄町78%、鳥取県77%、全国78.6%

・平均正答率が全国平均以上の問題は 7問

・平均正答率が県平均以上の問題は 7問

・学習指導要領の領域では、図形の領域で全国平均を上回っている。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「二次元表の合計欄に入る数を書く」問題

(北栄 69.6%, 全国比 +6.8)

「商を分数で表すことができる(5÷9の商を分数で表す)」問題

(北栄 76.8%, 全国比 +7.6)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「小数と整数の加法の計算をする(10.3+4)」問題

(北栄 66.1%, 全国比 -13.6)

「数量の関係を数直線に表すこと(買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ)」問題

(北栄 62.5%, 全国比 -7.4)

○算数B（主として活用）・・・11問

◆平均正答率・・・北栄町41%、鳥取県46%、全国45.9%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 2問
- ・平均正答率が県平均以上の問題は 1問
- ・学習指導要領の領域では、すべての領域で全国平均を下回っている。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「示された考えを基に、54-45の場合で残る部分を図に表す」問題
(北栄 84.8%, 全国比 +3.0)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる」問題
(北栄 19.6%, 全国比 -9.7)

「与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、最大の満月の直径に近い硬貨を選び、選んだわけを書く」問題

(北栄 5.4%, 全国比 -7.8)

「示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ」問題

(北栄 31.3%, 全国比 -8.5)

「13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く」問題

(北栄 22.3%, 全国比 -5.1)

「飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ」問題

(北栄 58.0%, 全国比 -9.9)

[算数関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの

「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。全ての書く問題を最後まで解答を書こうと努力した」

(北栄町 75.9%、鳥取県 71.7%、全国 69.9%)

「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」

(北栄町 92.0%、鳥取県 88.8%、全国 89.1%)

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低い主なもの

「算数の勉強は好き」 (北栄町 57.2%、鳥取県 61.3%、全国 65.9%)

「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」

(北栄町 58.9%、鳥取県 66.8%、全国 69.1%)

「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」

(北栄町 75.9%、鳥取県 82.4%、全国 82.6%)

(2) 中学校3年生

【国語A】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	113	32	25.7	80
鳥取県(公立)	4,684	32	24.7	77
全国(公立)	982,511	32	24.8	77.4

【国語B】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	113	9	7.0	78
鳥取県(公立)	4,675	9	6.5	72
全国(公立)	982,619	9	6.5	72.2

【数学A】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	113	36	23.5	65
鳥取県(公立)	4,676	36	22.8	63
全国(公立)	982,811	36	23.3	64.6

【数学B】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	113	15	7.7	51
鳥取県(公立)	4,670	15	7.2	48
全国(公立)	982,786	15	7.2	48.1

国語

○国語A(主として知識)・・・32問

- ◆平均正答率・・・北栄町80%、鳥取県77%、全国77.4%
 - ・平均正答率が全国平均以上の問題は 25問
 - ・平均正答率が県平均以上の問題は 27問
 - ・学習指導要領の領域では、すべての領域で全国平均を上回っている。

- ◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「相手に分かりやすいように語句を選択して話す」問題

(北栄 65.5, 全国比 +11.5)

「文脈に即して漢字を正しく書く(雨で運動会がエンキになる)」問題

(北栄 73.5%, 全国比 +11.2)

「文脈に即して漢字を正しく書く(店をイトナむ)」問題

(北栄 96.5%, 全国比 +11.1)

- ◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題
「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する」問題
(北栄 69.9%, 全国比 -8.6)

○国語B (主として活用)・・・9問

- ◆平均正答率・・・北栄町 78%、鳥取県 72%、全国 72.2%
 - ・平均正答率が全国平均以上の問題は 9問
 - ・平均正答率が県平均以上の問題は 9問
 - ・学習指導要領の領域では、すべての領域で全国平均を上回っている。

- ◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題
「必要な情報を集めるための見通しをもつ」問題
(北栄 78.8%, 全国比 +10.0)
「目的に応じて必要な情報を読み取る」問題
(北栄 89.4%, 全国比 +10.7)

- ◆全国平均未満の問題は無

[国語関係の質問紙]

- 肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの
「国語の勉強は大切だと思う」 (北栄町 95.6%、鳥取県 89.7%、全国 88.8%)
「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」
(北栄町 90.3%、鳥取県 85.3%、全国 83.3%)
「今回の国語の問題について、最後まで解答を書こうと努力した」
(北栄町 84.1%、鳥取県 72.0%、全国 72.3)

- 肯定的な回答の割合が全国平均より低いもの 無し

数学

○数学A (主として知識)・・・36問

- ◆平均正答率・・・北栄町 65%、鳥取県 63%、全国 64.6%
 - ・平均正答率が全国平均以上の問題は 20問
 - ・平均正答率が県平均以上の問題は 24問
 - ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているのは、「数と式」「図形」「関数」で、下回っているのは「資料の活用」である。

- ◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題
「具体的な場面で、一元一次方程式をつくることのできる」問題
(北栄 64.6%, 全国比 +11.8)

「 n 角形の 1 つの頂点からひいた対角線によって分けられる三角形の数を選ぶ」問題

(北栄 79.6%, 全国比 +10.2)

「与えられた比例のグラフから, x と y の関係を $y=ax$ の式で表す」問題

(北栄 67.3%, 全国比 +10.2)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「反復横とびの記録の範囲を求める」問題 (北栄 16.8%, 全国比 -11.8)

「円柱の体積を求める」問題 (北栄 41.6%, 全国比 -10.2)

○数学B (主として活用)・・・15問

◆平均正答率・・・北栄町 51%, 鳥取県 48%, 全国 48.1%

・平均正答率が全国平均以上の問題は 11問

・平均正答率が県平均以上の問題は 12問

・学習指導要領の領域では、すべての領域で全国平均を上回っている。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する」問題

(北栄 30.1%, 全国比 +12.5)

「与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉える」問題

(北栄 63.7%, 全国比 +10.9)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「与えられた式から, a の変域に対応する b の変域を求める」問題

(北栄 34.5%, 全国比 -8.7)

[数学関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの

「数学ができるようになりたいと思う」(北栄町 96.5%, 鳥取県 91.5%, 全国 91.2%)

「数学の勉強は大切だと思う」(北栄町 94.7%, 鳥取県 82.2%, 全国 81.1%)

「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」

(北栄町 48.6, 鳥取県 42.7, 全国 41.9)

■肯定的な回答の割合が全国平均より低いもの 無し

3 児童生徒質問紙調査の概要 ()内の番号は、質問番号

○「朝食を毎日食べていますか」に肯定的な回答(小中共通1)

小学校(全国比+2.8) 北栄町 98.2、鳥取県 96.3、全国 95.4
中学校(全国比+5.0) 北栄町 98.2、鳥取県 94.6、全国 93.2

○「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」に肯定的な回答(小中共通2)

小学校(全国比+2.3) 北栄町 82.1、鳥取県 80.3、全国 79.8
中学校(全国比+11.1) 北栄町 86.7、鳥取県 78.5、全国 75.6

○「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」に肯定的な回答(小中共通3)

小学校(全国比-7.8) 北栄町 69.6、鳥取県 79.2、全国 77.4
中学校(全国比+6.0) 北栄町 77.0、鳥取県 73.1、全国 71.0

○「将来の夢や目標をもっていますか」に肯定的な回答(小中共通10)

小学校(全国比-1.9) 北栄町 84.0、鳥取県 83.4、全国 85.9
中学校(全国比-3.2) 北栄町 67.3、鳥取県 69.9、全国 70.5

○「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除く)」に2時間以上と回答(小中共通12)

小学校(全国比+5.0) 北栄町 60.7、鳥取県 61.0、全国 55.7
中学校(全国比-0.4) 北栄町 48.7、鳥取県 52.6、全国 49.1

○「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」に1時間以上と回答(小中共通13)

小学校(全国比-6.4) 北栄町 49.4、鳥取県 50.0、全国 55.5
中学校(全国比+2.1) 北栄町 61.1、鳥取県 54.3、全国 59.0

○「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」に2時間以上と回答(小中共通15)

小学校(全国比-6.5) 北栄町 20.6、鳥取県 20.9、全国 27.1
中学校(全国比-16.0) 北栄町 19.4、鳥取県 30.1、全国 35.4

○「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」に週に1回以上行くと回答(小中共通19)

小学校(全国比+13.8) 北栄町 29.4、鳥取県 24.1、全国 15.6
中学校(全国比+11.4) 北栄町 19.5、鳥取県 16.6、全国 8.1

○「家で、自分で計画をたてて勉強していますか」に肯定的な回答（小 29 中 31）

小学校（全国比－5.5） 北栄町 59.0 、 鳥取県 65.0 、 全国 64.5
中学校（全国比＋3.4） 北栄町 54.9 、 鳥取県 54.3 、 全国 51.5

○「家で、学校の宿題をしていますか」に肯定的な回答（小 30 中 32）

小学校（全国比＋0.4） 北栄町 97.3 、 鳥取県 96.1 、 全国 96.9
中学校（全国比＋6.1） 北栄町 95.6 、 鳥取県 89.6 、 全国 89.5

○「家で、学校の授業の予習をしていますか」に肯定的な回答（小 31 中 33）

小学校（全国比－8.9） 北栄町 32.1 、 鳥取県 41.0 、 全国 41.0
中学校（全国比－7.8） 北栄町 23.9 、 鳥取県 25.6 、 全国 31.7

○「家で、学校の授業の復習をしていますか」に肯定的な回答（小 32 中 34）

小学校（全国比－2.9） 北栄町 50.9 、 鳥取県 56.7 、 全国 53.8
中学校（全国比－0.1） 北栄町 50.4 、 鳥取県 47.6 、 全国 50.5

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」に肯定的な回答（小 33 中 35）

小学校（全国比－5.9） 北栄町 80.4 、 鳥取県 86.1 、 全国 86.3
中学校（全国比＋3.2） 北栄町 84.1 、 鳥取県 82.6 、 全国 80.9

○「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答（小 40 中 42）

小学校（全国比＋26.7） 北栄町 89.3 、 鳥取県 78.7 、 全国 62.6
中学校（全国比＋31.4） 北栄町 73.5 、 鳥取県 50.6 、 全国 42.1

○「授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」に肯定的な回答（小 57 中 59）

小学校（全国比－5.9） 北栄町 78.6 、 鳥取県 85.1 、 全国 84.5
中学校（全国比＋6.7） 北栄町 88.5 、 鳥取県 88.6 、 全国 81.8

○「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」に肯定的な回答（小 61 中 63）

小学校（全国比－1.6） 北栄町 86.6 、 鳥取県 89.0 、 全国 88.2
中学校（全国比＋8.7） 北栄町 96.5 、 鳥取県 93.9 、 全国 87.8

○「授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」に肯定的な回答（小 62 中 64）

小学校（全国比－11.9） 北栄町 64.3 、 鳥取県 79.2 、 全国 76.2
中学校（全国比＋14.4） 北栄町 80.5 、 鳥取県 73.4 、 全国 66.1

4 傾向と対策

(1) 小学校6年生

①国語

◇国語Aの平均正答率は、全国平均と比べてやや下回っている。学習指導要領の領域で「話すこと・聞くこと」が全国平均を上回っており、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、やや下回り、「書くこと」が下回っている。「読むこと」についてはかなり下回っている。

- ・「俳句の情景を捉える」問題では、正答率が全国比－15.9である。俳句の授業では、十七音から季節な風情、作者の思いを思い浮かべたり、美しい響きを感じ取りながら音読したりして、文語の調子に親しむことができるようにすることが大切である。
- ・「ことわざの意味を理解して、自分の表現にも用いる」問題では、正答率が全国比－11.4である。ことわざの授業では、国語辞典やことわざ辞典を日常的に活用し、調べたことわざを適切に用いた文を作る活動が有効である。

◇国語Bの平均正答率は全国平均と比べて下回っている。学習指導要領の領域では、「書くこと」は全国平均とほぼ同じで、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国平均を下回っている。

- ・「話すこと・聞くこと」においては、「話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える」ことに課題があり、実際に目的や意図に応じて話や構成を工夫し、短い言葉で順序立てて記述したメモを作成し、実際にスピーチをする経験をさせることが大切である。
- ・「読むこと」については、「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える」力が弱い。ものの見方や考え方を広げるために、各自が考えたことの共通点や相違点を視点として交流する機会を学習の中に設定していく必要がある。

◇質問紙調査では、「国語の勉強は好きですか」という肯定的な回答が全国より3.4ポイント低く、「国語の勉強は大切だと思いますか」という肯定的な回答は全国より2.8ポイント低い。「意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」についての回答が全国より8.9ポイント低かったが、「今回の問題について最後まで解答を解こうと書こうと努力したか」という質問では、3.2ポイント全国より高かった。文章の構成を考えて自分の意見を書いたり、意見を相手にわかりやすく伝えたりすることができるよう児童の実態に合った手立てを考え、児童一人ひとりが自己肯定観や達成感を体得できるような環境づくりが必要である。

②算数

◇算数Aの平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。学習指導要領の各領域では、「図形」と「数量関係」が全国平均とほぼ同じで、「数と計算」と「量と測定」がやや全国平均を下回っている。

- ・全国と比べて正答率が低かった「1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができるか」という問題（全国比－7.4）では、問題場

面から数量の対応関係や大小関係、1に対応する数量を数直線上に表す活動を数多く取り入れることが大切である。

- ・「小数と整数の加法（小数）＋（整数）の計算をすることができるか」という問題（全国比－13.6）では、計算の処理をするだけでなく、計算の処理の誤った例を例示して、誤りの箇所を指摘し修正する活動を設定することも大切である。

◇算数Bの平均正答率は、全国を下回っている。学習指導要領の全ての領域で全国を下回っており、特に「図形」が全国比－7.8、「数量関係」が全国比－5.6とかなり下回っている。

- ・全国と比べて正答率がかなり低かったのは、「飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断できるか」という問題（全国比－9.9）で、測定値の平均を求める場合、形式的に計算するだけでなく、具体的な場面において飛び離れた数値は除いて合計を出し、その回数を除いた数で割るといったように式の意味を理解できるようにすることが大切である。
- ・「割合を比較するという目的に適したグラフを求めることができるか」という問題（全国比－9.7）では、「棒グラフ」「帯グラフ」「円グラフ」のそれぞれの特徴を比較しながらまとめたり、算数の学習以外にも目的に応じた表やグラフを作成したり、適切な表やグラフを選択したりする学習を充実させていくことも大切である。

◇質問紙調査では、「算数の勉強は好きですか」という肯定的な回答が、全国より8.7ポイント低く、「算数の授業の内容はよくわかりますか」という肯定的な回答が、全国より4.7ポイント低かった。「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」という質問の肯定的な回答が全国より10.2ポイント低いことと算数Bの正答率の低さとは関連が深いと考えられる。算数で学んだことがいかに日常生活に生かされているか実感できるような学習展開を考えて実践していくことが必要である。

（2）中学3年生

①国語

◇国語Aの平均正答率は全国平均を上回っている。学習指導要領の領域では、すべての領域で全国平均を上回っている。

- ・「漢字を正しく書く・読む」問題では正答率が高いが、漢字を書く問題では無回答率が少しある。漢字の指導に当たっては、正確に読み書きできるようにすることに加え、漢字の特徴を理解して適切に使えるようにすることが大切である。そのために、新出の漢字だけでなく、小学校で学習した漢字を、各教科で積極的に指導することが重要である。
- ・正答率の低い問題として「事象や行為などを表す多様な語句の理解（話合いの記録として適切な言葉を考える）」問題（北栄 46% 全国比＋7.1）がある。学校生活の中での話し合い活動や各教科等の学習や読書活動をする中で、出会った多様な語句を取り上げて指導することで、話や文書で用いる語彙を豊かにすることが大切である。

- ・全国平均との差が大きかった問題として「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する」問題（北栄 69.9%，全国比 -8.6）がある。古典の学習の際には、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典への興味・関心を高めることができるように指導することが大切である。

◇国語Bの平均正答率は全国平均をかなり上回っている。学習指導要領の領域では、「話すこと・聞くこと」の領域で全国平均を上回っており、他の領域はかなり上回っている。

- ・正答率の低かった問題に「比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く」問題（北栄 46.0%，全国比 +4.6）がある。自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことの指導として、文書を読んで心に残った言葉や文、感想などをノートに書き留めておき、それをもとにしてペアやグループで交流する学習活動が考えられる。

◇質問紙調査では、すべての項目で肯定的な回答の数値が上がっている。

特に、授業の中で「自分の考えを話したり、書いたりしている」「意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」の数値が上昇している。国語の授業で、自分たちの意見を発表、交流する活動が多く行われるなど、生徒主体の授業改善が進んでいると思われる。

②数学

◇数学Aの平均正答率は全国平均をやや上回っている。学習指導要領の領域では、「関数」が全国平均を上回っており、「数と式」「図形」はやや上回っている。「資料の活用」はほぼ同じである。

- ・分数の計算（北栄 82.3% 全国比-4.8）、正の数と負の数の四則計算（北栄 73.5% 全国比-2.1）など、計算のきまりにしたがって正しく計算することは、数学科の学習全般において必要である。分数や小数を含む計算が確実にできるように小学校と連携しながら習熟に向けた更なる取組が必要である。

◇数学Bの平均正答率は全国平均を上回っている。学習指導要領の領域では、すべての領域で全国平均を上回っている。

- ・「求める方法や理由を説明する」という問題の正答率が低くなっている。説明はしているが、数学的な表現が不十分な回答が多い。事象を多面的に見たり、事象を数学的に表現できるように、授業の中でお互いの説明を比較検討する活動を取り入れることが必要である。

◇質問調査では、すべての項目で肯定的な回答の数値が上がっている。

「数学ができるようになりたいと思う」（北栄 94.7%，全国比 +13.6）「数学の勉強は大切だと思う」（北栄 96.5%，全国比 +5.3）「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」（北栄 76.1%，全国比 +20.7）など、数学に対して前向きな姿勢がうかがえる。